

厚生環境委員会・県外視察報告

1 調査日

令和4年8月8日（月）～令和4年8月10日（水）

2 出席委員等

岡崎信也委員長、瀬川侑希副委員長、稗苗清吉委員、火爪弘子委員、
武田慎一委員、永森直人委員、井上学委員、種部恭子委員
（その他、執行部が参加）

3 調査の概要

○令和4年8月8日（月）

（1）高崎市議会

調査項目：高崎市子育てなんでもセンターについて

応 対 者：高崎市こども家庭課

内 容：高崎市では2017年に、子育て支援のワンストップサービス拠点として、子育て中の人や妊娠中の人々が1か所で気軽に様々な相談ができ、必要な支援を受けることができる施設として「高崎市子育てなんでもセンター」を開設した。

センターは閉館日であったため、直接見ることはできなかったが、担当者から設置経緯や施設概要、事業効果、整備費用などの説明を受けた。



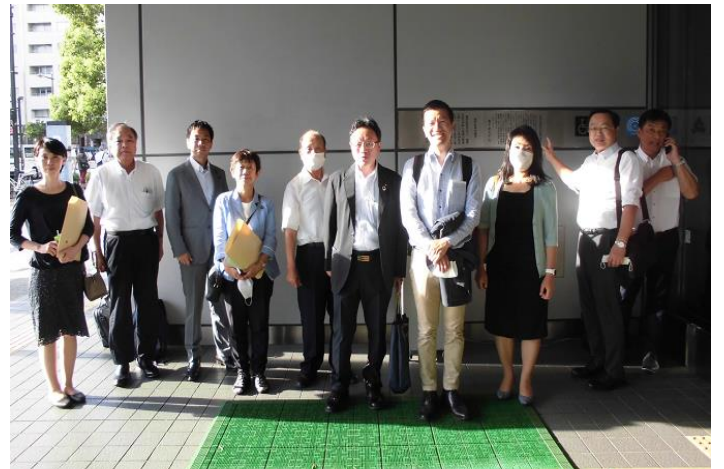
(2) 文京区議会

調査項目：子ども宅食プロジェクトについて

応 対 者：文京区子育て支援課

内 容：文京区では、経済状況が食生活に影響するリスクがある家庭の子どもに対して、企業等から提供いただいた食品等を配送し、また、配送をきっかけに、子どもとその家庭を必要な支援につなげ、地域や社会からの孤立を防ぐための事業として、「子ども宅食プロジェクト」に取り組んでいる。費用はふるさと納税からの寄付金を用いている。

事業担当課から事業概要、事業効果、整備費用などの説明を受けた。



○令和4年8月9日（火）

(1) カルッツかわさき

調査項目1：PFI手法に関して

応 対 者：川崎市市民スポーツ室、地域振興課

内 容：「カルッツかわさき」は、PFI事業スキームにより、計画地内にあつた市立体育館と、道路向かいにある教育文化会館の大ホール機能を併せ持った複合建築物として再整備されたものである。

初めに、PFI事業スキーム等の説明を受けたあと、施設見学を行った。

調査項目2：障害者スポーツに関して

応 対 者：川崎市市民スポーツ室

内 容：川崎市では障害者スポーツの普及促進のため、障害者スポーツ受入マニュアルを整備するなど、先進的な取組を行っている。担当課から障害者スポーツ受入れや支援に関する取組についても説明を受けた。



(2) 中川水循環センター

調査項目：汚泥消化とバイオガス発電について

応 対 者：埼玉県下水道公社

内 容：中川水循環センターでは、下水処理にあたって、温室効果ガスを削減するための取組として、新たな汚泥処理施設を整備した。

担当者から事業概要や効果等の説明を受けたのち、施設見学を行った。



(3) サイバーダイnstudio

調査項目：介護ロボの開発について

応 対 者：サイバーダイnstudio

内 容：サイバーダイnstudioは医療福祉機器等の研究開発を行っている企業である。始めに介護・自立支援・作業支援用の腰装着タイプの支援ロボ（HAL 腰タイプ）の開発の歴史や利用用途等の説明を受けた後、実際に HAL 腰タイプを装着体験した。



○令和4年8月10日（水）

(1) とちぎ福祉プラザ 障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）

調査項目：障害者スポーツについて

応 対 者：栃木県障害福祉課、栃木県障害者スポーツ協会

内 容：栃木県宇都宮市では障害者が気軽に利用することができ、障害者をはじめとする多くの県民の交流の場として設置された障害者が優先して使用できるスポーツセンターとして「わかくさアリーナ」が2016に開館した。

始めに担当課から、わかくさアリーナの整備概要、施設概要の説明を受けた後、施設見学を行った。

その後、「ボッチャ」及び「STT（視覚障害者卓球）」の体験を行った。



